

郷土摂津 いにしえ通信

第94号



平成18年2月1日

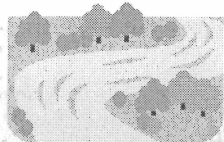
発行

摂津市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課

〒566-8555 摂津市三島一丁目1-1

Tel (06)6383-1111 (072)638-0007

ホームページアドレス

<http://www.city.settsu.osaka.jp/>

ふるさとの川「淀川」

～川は流れる悠久の歴史の中で～

人類が出現する以前の原始・古代・

中近世から現代まで時代別に淀川

と摂津市の関わりに迫ります。

第11回

民衆勢力の台頭

室町時代は民衆勢力の台頭が顕著でした。南北朝の動乱に活躍した悪党・国人など有力名主は、やがて守護大名の家臣団に編入され、あるいは他の名主や実際の耕作農民である百姓を従えて小領主化をすすめました。有力名主の中には鎌倉時代以来、余剰生産を商品化して貨幣資本化し、土倉・酒屋のごとき高利貸を営む者が現われ、その活躍も顕著になりました。一方、農村には新たな名主が輩出し、百姓も成長しました。彼らは荘園制の崩壊とともに、荘園村落を解体して自然な地縁関係から郷・村という自治的な村落を形成しました。そこでは戦禍にさいなまれて自衛を計ったり、用水・入会問題などを解決するため、名主・百姓の合議制が発達し地下掟・郷置目などの自治規約も定められました。その中心となったものは、名主中から選ばれた乙名・沙汰人・刀禰・年寄などと呼ばれる有力な名主です。また数ヵ村、数ヵ郷が地縁的な結合をつくって連合して行動することも多くなりました。このような自治的に行動する地域団体が、惣または惣村・惣中などと呼ばれるもので、畿内先進地域などにしだいに発達しました。かくして彼らは領主・守護・高利貸の誅求に屈服することなく、強訴・逃散さらに土一揆・徳政一揆をおこして対抗しました。応仁の乱後には、地侍・国人化した名主層に率いられた地域的大連合も組織されました。山城国一揆や摂津国一揆も、このような動きの中で起こったものでした。

一方、荘園制の衰退にともない、荘園領主との従属関係から独立しはじめた農民・手工業者は、技術の発展と相まって生産力を上昇させ、各地で特色ある物産が生み出されるようになりました。そのような産業の発展は商品流通をしだいに活発化し、市場・交通・金融制度の発達をも促しました。室町幕府の所在地として大消費地であった京都、港町である堺・兵庫・淀・大津、港町であり門前町でもあった天王寺など、地方生産地と消費地を結ぶ要地が大いに栄えました。これらの都市でも有力町人から選ばれた乙名・年寄を中心に、町人の自治によって町政を運営したものが少なくありません。民衆の台頭は都市でも顕著となりました。

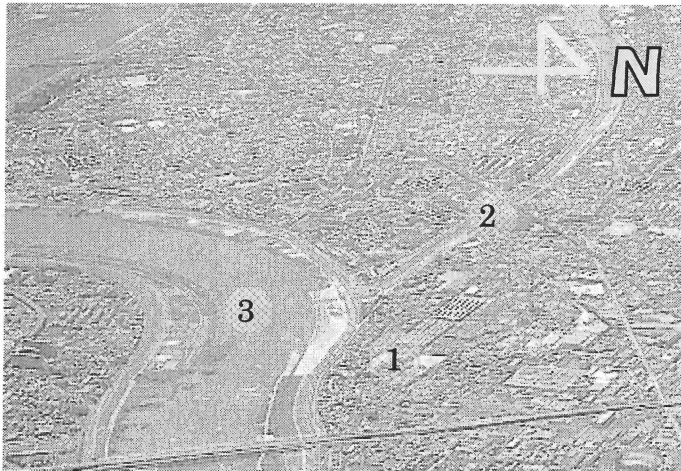
問丸と一津屋

このような状況下で、商品流通の幹線として淀川はさらに重要度を増しました。水運の活況とともに発展したものに問丸があります。問丸は問あるいは津屋とも呼ばれ、港湾に発生した貨物輸送仲介業者です。すでに平安時代の末期には、淀や木津・桂などの津に、荘園領主の旅行にあたって水上運輸を引き受けた問のあったことが知られていますが、鎌倉時代になると、問丸は全国各地の港湾に発生し、その多くは荘園領主に従属して、その荘園から取りたてた年貢の保管・輸送・管理にあたりました。しかも、流通経済の発展につれて荘園領主から独立し、専門的な倉庫業・運送業・貨物仲介業を営むようになり、さらに一般流通物資を売買する御売業者（問屋）に成長して行くこととなります。

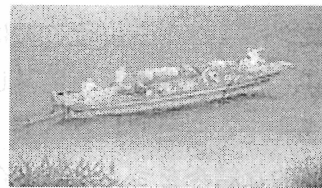
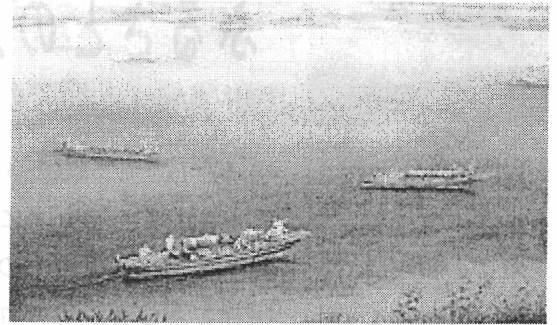
(裏面へつづく)

問丸は室町時代には全国の重要な港湾にはほとんど例外なく存在しましたが、淀川流域では桂・鳥羽・淀・木津・宇治や尼崎などが知られています。

摂津市には一津屋という地名があります。神崎川と淀川との結節点という交通の要地です。津屋は問丸の別称であるが、すでに早く『倭名類聚抄』には「邸家」に注して「今俗に津屋という、この類なり」とし、「売物をとどめて賃を取る処なり」と説明しています。また、ある説では、「つどいや」（集屋）の略で、人の集まるところの意であるともいわれています。一津屋に問丸が存在したという史料は全く見出されませんが、この地が江口と相対する淀川の分岐点であるうえ、古来御牧の港としての役割をもち、味舌荘の港という働きも加わって、津屋が存在した地であった可能性は、充分考えられます。（摂津市史より）



一津屋付近 ①味生神社 ②神崎川 ③淀川



淀川を往来した船
鳥飼東公民館壁画より

ふるさと 摂津案内人

ふるさと摂津案内人（以下、「案内人」とは、文化財からふるさとの歴史を学び、後世の人々に伝えていくことを目的としたボランティアグループです。案内人は平成14年度から摂津市教育委員会が主催している「ふるさと摂津案内人養成講座」の修了生で構成されています。案内人を対象とした研修会を月1回開催し教育委員会との連携や案内人同士の情報交換の場として開催しています。

他の活動としては、それぞれテーマを決めて学習した成果を「ふるさと摂津講座」「市民出前講座」「おさかふみんネット」などの講座での発表や、市主催の文化財展示・歴史散策のガイドと多方面で活躍しています。少しでも摂津市の歴史に興味のある方は案内人の講座を聞いてみませんか？歴史散策のガイドも致しますのでお気軽にご依頼ください。ご連絡は生涯学習課まで。



学習の段階と循環



研修風景

生涯学習

歴史学習